



YMCA KOBE

# YMCA NEWS

神戸青年 No.590

2008.9・10 Sep・Oct

発行所 日本YMCA同盟 東京都新宿区本塩町7  
THE YMCA神戸版 発行人/水野 雄二 編集人/岡山 泰典  
神戸YMCA 〒650-0001 神戸市中央区加納町2-7-15  
TEL.078-241-7201 FAX.078-241-7479  
URL http://www.kobeymca.or.jp 印刷/わかばやし印刷

- 三田センター
- 宝塚センター
- 西宮YMCA
- 神戸YMCA三宮本館
- 須磨YMCA
- 西神戸YMCA
- 西神南センター
- YMCAちとせ幼稚園
- 西神戸YMCA幼稚園
- YMCA保育園
- 西宮YMCA保育園
- 余島野外活動センター



神戸YMCA 年間聖句 あなたがたの光を 人びとの前に輝かしなさい。  
(マタイによる福音書 5:16)

心身に障がいのある人たちのために  
あなたの参加費が支援金となります

## 神戸YMCAは2011年に創立125周年を迎えます

125周年準備拡大タスクでは、テーマについて先ず話し合い、いくつかの案を作成し、常議員会において、アンケートをとり決定しました。続いて、テーマにあったロゴマークを公募し、岡野由裕さんの応募作品に決定しました。



《テーマ》

ひとりひとりを大切に  
～伝え続けよう 平和・愛・いのち～

### ロゴマークのコンセプト

YMCAのアクティブなイメージをモチーフにした人々が手を取りあい、125周年のその先へ神戸から羽ばたいているイメージです。海と山は図案化した神戸を表現し、色はYMCAカラーである赤と青で編成しました。

とき：2008年11月3日(祝)  
ところ：しあわせの村ジョギングコース  
受付：午前9時より



### 【プログラム】

- A 小学生駅伝 4年・5年・6年生  
男子4名もしくは女子4名で1チームのタイムレース
- B グループラン 原則5名以内のグループまたは家族で1チーム  
2.0km 宣言タイムレース
- C 駅伝(一般) 4名1組 1名3.2km タイムレース
- D 駅伝(女子) 4名1組 1名3.2km タイムレース

### 【スタート】

- A 6年生=10:00 5年生=10:30 4年生=11:00
- B 11:40
- C・D 12:25

### 【参加費】

- A 1チーム 2,000円
- B 1チーム 5,000円
- C・D 1チーム 10,000円

### 【協賛金】(任意)

- 企業・団体 1口 20,000円 個人 1口 5,000円

### 【お問い合わせ・お申し込み】

神戸YMCAチャリティーラン事務局  
078-241-7201 または各YMCAまで

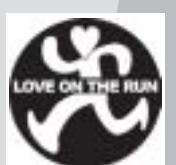
「ボランティアの心を育む」を目的に1998年から開催し、今年で11回目を迎えます。昨年神戸大会は、「共に生きる社会をめざす」「心のふれあいを促進する」により1983年に東京で始められました。



神戸大会は、「共に生きる社会をめざす」「心のふれあいを促進する」により1983年に東京で始められました。

今年で11回目となる「神戸YMCAチャリティーラン」が、11月3日(祝)しあわせの村(神戸市北区)で開催されます。参加者、ボランティア合わせて1,000人を超す神戸YMCAの大きなイベントにぜひご参加ください。

大会は10回大会という記念すべき大会で、チーム登録数289、ランナーが1,159人、ボランティアが317人と過去最高の参加者となり、140万円近い支援金を上げることができました。神戸YMCAチャリティーランは全国の大い。神戸大会がめざすものを、なにか感じとっていただけたと思います。



## 第11回神戸YMCA チャリティーランのご案内

今年もより多くの方々に楽しく参加していただけるように、実行委員長の



五泊六日の自然学校へ子ども達と共に行ってきました。五泊の間親から離れる不安と、仲間と過ごせる期待で、子ども達は揺れ動いています。六月開催の自然学校は、梅雨ということもあってお天気が気になります。全日程晴れたら幸運。しかし、今回の我々はいえ、毎日雨のように雨に見舞われて。雨プロを用意しているとはいえ、そろそろ底をついた四日目。雲の切れ間からうつつすらと陽が差してきました。『よっしゃあ。高原へ行こう!』こうなれば、雨が降ろうが降るまいが『どつからでもこんかえ』てな感じです。雨上がりの高原は、緑が一段と美しく、草花もとてもいいにおい。子ども達は足元が悪いことなど関係なく散策を楽しんでいます。『みんな! あつまれ!。ただ今より、第一回 神戸市立本庄小学校 自然学校 「しあわせを呼ぶ四つ葉のクローバー探し大会」を始めます。』一斉に子ども達は探し始めました。『なかなか見つかるまい。』と思っていたのですが、『みつけた! 先生これか?』とどれどれ。フムフム。おっ! これや! 『やつた!。大喜びしている子につられるように。』「あつた!。見てみて。」と次々やって来ます。『どれ! どれ! 見せて。ええなあ!』

「どこにあんねん。ないやんけえ!」と怒り出す子も。五百円玉ほどの大きさの四つ葉。小指の先ほどの小さな四つ葉。同じ四つ葉でもいろいろ顔をしてみました。それを探している子ども達もいろいろ顔をしてみました。四つ葉のクローバーは、珍しい事とマルタ十字の形に似ていることから幸運や幸福の印とされているようです。ちなみに、五つ葉は、金銭上の幸運。六つ葉は、地位・名声の幸運。七つ葉は、最大の幸運を意味すると言われています。(ちなみに、ギネスでは十八つ葉のあるシロツメクサが認定されているようです。どんな幸福やねん!) 私は毎日子ども達の笑った顔・泣いた顔・喜んだ顔・悔しそうな顔を探しています。それが私の『しあわせを呼ぶ四つ葉のクローバー探し』です。

(角本 政隆)

神戸市では今年5月に環境サミット（G8環境大臣会合）が開催されました。  
 神戸YMCAでも今年度の強調点として、環境課題への取り組みを通して、「いのち」の輝きを求め、平和を希求する働きかけを掲げています。  
 神戸青年でも『神戸YMCAの考える環境』と題して様々な環境に対する取り組みや、発信をシリーズで展開します。

『テーマ』

- 7 / 8月号 : 資源について～クリーンキャラバンの取り組みから～
- 9 / 10月号 : 環境プログラム・環境キャンプ～サントリー・コープこうべとの共働から～
- 11 / 12月号 : 子どものからだところの育みから
- 1 / 2月号 : 地球・汚染
- 3月号 : ～人口・国際・平和～



# 環境プログラム・環境キャンプ サントリー・コープこうべとの共働から

## ネイチャーキッズキャンプ

7月24日～7月28日

神戸YMCA余島キャンプ場

子どもたちに希望と夢を与えたいというサントリー株式会社と、彼らに寄り添いながら豊かな体験をしてみようという神戸YMCAの思いが重なって、余島キャンプ場にて去年から共同でキャンプをしています。今回のサントリーネイチャー



キッズキャンプのメインは、森の中の遊びと海遊び。まず2日目と3日目にツリークライミングと森遊びを楽しみました。ツリークライミングは、ロープを使い、自分の力で樹上10mまで登るスポーツです。日本ではトップクラスのインスト

ラクター安藤義樹さんのグループに来ていただき、涼しい余島の森で、樹と一緒にゆらゆらりと風に吹かれながら、空中散歩を楽しみました。また、森遊びの達人松野陽平さんとも、森の中で遊び場作りや夢中になりました。後半は自然のことは何でも知ってる香川洋二さんと海遊びに出かけました。海は松葉貝にヒザラ貝、カモノテ、イソギンチャク、カニに小魚などたくさん生きている。実際にそのいくつかはゆで、その珍味を味わいました。夕方には海の生き物についてのレクチャーと、海水からの塩作りを体験しました。

サントリー株式会社を力借りて、その道の専門家と交わることができたのは、とてもよい体験でした。本物に出会うと



いうことは子どもにとっても、驚沢な体験だったと思います。またこの専門家も「思いやり」が大切だということでも共通していました。樹に対して、森に対して、海に対して、そして人に対する思いやりに通じるプログラムを展開することができ、とても実りの多いキャンプとなりました。

## 夏休みあそびっ子ウィーク

7月28日～8月8日

コープこうべ生活文化センター 他

2008年夏、神戸YMCAはコープこうべとの共催子育て支援事業として「夏休みあそびっ子ウィーク」を行いました。5日間で、毎日9時から17時まで、神戸YMCAの持つ野外活動のノウハウとコープこうべの持つ施設や食育、環境教育のノウハウをミックスさせてプログラムを行いました。

コープこうべの施設であるエコファームで野菜の収穫体験や、コープこうべ店舗での販売体験などを行いました。5日間の活動の中で子どもたちはYMCAが大切にしている

価値に触れるのと同じように、コープこうべの持つ資源の中から多くの体験をする事ができました。中でも、期間中に行われたエコファーム見学では、野菜の収穫体験だけでなく、我々の食べ残しや売れ残りの野菜を堆肥として再利用し、新たな食物を作ることに役立てていることを子どもたちは知ることができました。少し臭い思いをしました。環境や食物連鎖について考えるきっかけとなったのではないのでしょうか。また、毎日食べるお弁当には割り箸がついていますが、子どもたちは自分で作った竹の箸を洗って毎日使いました。その



ある日は六甲山で山歩きや芦屋浜でのカヌー体験を行い、またある日は



ことによつて、5日間で100本以上の割り箸が捨てられずになりました。地球規模で考えると小さな取り組みかも知れませんが、こうした体験を通して、子どもたちが自分や周りのお友だちを大切にすることを学べるように思っています。

「寄付金」  
清水泰人、古谷美子、古谷武雄、下村俊子、富川和彦、武田寿子、塩田邦博、松本恵子、城 純一、Ding Dong Ringers、遠藤 浩（敬称略・順不同、6月3日～8月9日）

## 感謝

第17回  
チャリティワインを  
楽しむ会

2008年6月27日  
参加者49名  
収益 114,981円

## 寄付金

清水泰人、古谷美子、古谷武雄、下村俊子、富川和彦、武田寿子、塩田邦博、松本恵子、城 純一、Ding Dong Ringers、遠藤 浩（敬称略・順不同、6月3日～8月9日）



# 先駆的役割を担われた神戸YMCA元総主事 古谷武雄さんの功績

神戸YMCA名誉主事(前 総主事) 山口 徹



総主事時代の古谷氏

家庭電化がもたらした日常生活の便利さや食の欧米化からくる運動不足傾向が社会問題としてクローズアップされたのは、1960年代であり、YMCA体育事業が大きく変貌した時代でありました。

このことに着目したプログラムが、全国に先駆けて神戸YMCAが始めた「体育の嫌いな子どものキャンプ」であり、それを日常化したのが「幼児・少年体育教室」でありました。かつてYMCA体育は青年のスポーツ活動で代表されていましたが、一転してSports for Allの標語を掲げて対象年齢を幼児から家庭婦人にまで広げていきました。その先駆的な大きな役割を担われたのが古谷さんであったことは周知のことです。

その実績を元に「全国YMCA体育事業3ヵ年計画」を多くの専門家を中心にレイパーソンと共に作り上げられた責任者も古谷さんでありました。トータル・フィットネス、ウエルネス理論を導入し、それらが今日の基盤となり、後に、ランニングやジョギングがブームとなり、ストレッチやヘルシーバックのプログラムは米国から最先端をいく指導者を招聘し普及に努めました。また、全国体育事業協議会、全国体育リーダー研修会、社会体育指導者養成セミナー等々を実施し、明日の体育指導者育成に誰よりも力を注ぐことが大切であることを強調されたのが古谷さんでありました。片方、YMCAの広域化、専門化、プログラムの多様化をめざして、宝塚・三田・学園都市YMCA、国際文化センター、YMCA保育園の設立等々を成し遂げられたのは、古谷さんの総主事時代(1984～1992年)でありました。

多くの功績を残された古谷さんに敬意を表し、それに続く者として時代の変化と共に創立125年を迎えようとする神戸YMCAに課せられた「使命」を今一度確認し合いたいものであります。(古谷武雄さんは去る6月7日に天に召されました。享年76歳)

## ソナタ 奏鳴曲 No.34



総主事 水野雄二

# お、い、で、よ!

インドで貧しい人たちと共に生きてマザー・テレサの言葉です。「イエス様がおっしゃったことを覚えておきましょう。『あなたが私の兄弟の最も小さなひとりにすることはどんなことも、すべて私にすることなのです。』ちょっと考えてみましょう。独りぼっちの人にあなただけの小さなほほえみ、目の不自由な人が道を渡る時、あなたが差し出す手、おなかのすいている人のために、あなたがちょっと我慢して差し出した食べ物。これらはみんな、あなたがイエス様にしているのです。」

YMCAの活動においても、長い歴史の中で、時代に応じた「最も小さなひとりに」奉仕をしてきたのではないかと、思います。それはプログラムや事業と姿を変えていますが、多くの活動は「小さなひとりひとり」に向けられた思いの形でありました。

この6月に秋葉原で起きた無差別殺傷事件は大きな衝撃を与えました。殺人的行為は決して許されるものではありませんが、そこには現代社会の中で小さくされ、生きにくくされた犯人像が浮かび上がってきます。また、6月には昨年一年間の自殺者の数も発表され、前年比3%増の33,000人が自殺をし、10年連続して30,000人を上回ったと報道されました。健康の問題、生活苦、仕事の行き詰まりなどが大きな要因のようですが、ここにも小さくされ、生きにくくされた人々の姿が浮かびます。

マザー・テレサが言った「独りぼっちの人にあなただけの小さなほほえみ」くらいなら私でもできるかもしれない。小さなほほえみを交わす集いならYMCAでもできるかもしれないと思います。人間が人間らしく生きにくい社会、行き場のない不安と憎悪が溢れる社会、みんなが「さびしがりに屋」の社会、ネットでしか通じ合えない社会が現代であるとすると、多様性に溢れた生の人間同士が出会い、触れ合い、繋がりが「場」が必要であり、それはYMCAができることではないかと思われたいです。YMCAの秋は、そのような「場」が盛りだくさんに用意されています。

秋のYMCAに、お、い、で、よ!

## 神戸YMCAコミュニティサービスセンターより 神戸市立東灘体育館の紹介

阪神青木駅から徒歩5分、十二間道路と阪神電車線路の交差する角に東灘体育館があります。2006年4月より、指定管理者制度のもと、神戸市体育協会と神戸YMCAの共同で運営がなされている施設です。施設は、バトミントンコートなら3面、バスケットボールコートなら1面取れる大きさの競技場と、卓球台が8台置ける体育室、そしてトレーニングルームがあります。トレーニングルームは少し狭いながらも、基本的なトレーニング機材はそろっており、近所のおじいちゃん、おばあちゃんから、東灘体育館をホームとするバレーボールクラブ所属の競技志向の高いお母さんたち、はたまた、自称「将来プロ目指す」という、体格がすぐぶるよい現役の高校球児まで、世代を問わず色々な方々に様々な目的で利用されています。競技場と体育室は、バトミントン、卓球、家庭バレー ゴムボールを使った6人制のバレーで、神戸市発祥のバレーの3種目のチーム登録が多く、大変盛んです。ちなみに神戸市地区体育館(東灘、須磨、垂水、西の4つの体育館)ではこの3種目を「三種の神技」と呼び、古くからたいそう親しみあるスポーツとして、また世代を問わず楽しめる息の長いスポーツとして位置づけられています。もちろんどんな種目でも、体育館にチーム登録をしていただくと誰もが利用可能ですのでご心配なく。珍しいところでは居合のチーム登録があり、はかまを着たお兄さん、お姉さんがさっそうと館に入ってこられ、演舞に汗を流しておられます。また、春、秋、冬の各期間、卓球、バトミントンに始まり、健康体操、ヨガ、ミニバスケット、フィジカルビューティー、子どもの体育教室などを開講しています。興味ある方は是非体育館までお問い合わせいただき、健康づくりに、仲間作りに、教室をまた体育館をご活用下さい。



学、大阪・京都観光や姫路の研修で、2回目の訪問が、ソックスを履いて、リッキー大塚さん(神戸YMCAスタッフ)と、チャレンジャー(神戸YMCAスタッフ)の研修を行いました。研修内容は、ソックスを履いて、リッキー大塚さん(神戸YMCAスタッフ)と、チャレンジャー(神戸YMCAスタッフ)の研修を行いました。

交流・研修内容 交流・研修内容 交流・研修内容 交流・研修内容 交流・研修内容 交流・研修内容 交流・研修内容 交流・研修内容

交流・研修内容 交流・研修内容 交流・研修内容 交流・研修内容 交流・研修内容 交流・研修内容 交流・研修内容 交流・研修内容

交流・研修内容 交流・研修内容 交流・研修内容 交流・研修内容 交流・研修内容 交流・研修内容 交流・研修内容 交流・研修内容

交流・研修内容 交流・研修内容 交流・研修内容 交流・研修内容 交流・研修内容 交流・研修内容 交流・研修内容 交流・研修内容

シリーズ「くわいのまぐい」③



ウエルネスセンター三宮 x078(241)720  
 YMCAホームヘルパーの事務所 x078(241)723  
 ランゲージセンター x078(241)720  
 専門学校 x078(241)720  
 西宮YMCA x0798(35)598  
 三田センター x079(559)007  
 余島野外活動センター x0879(62)224  
 国際・奉仕センター x078(241)720

KOBE  
**YMCA**  
 GOAL 2011  
**Information**

ウエルネスセンター学園都市 x078(793)740  
 西神戸YMCA x078(793)740  
 西神南センター x078(993)156  
 須磨YMCA x078(734)018  
 YMCA保育園 x078(794)390  
 西宮YMCA保育園 x0798(35)599  
 YMCAちとせ幼稚園 x078(732)354  
 西神戸YMCA幼稚園 x078(997)770

2008年 PHOTO TOPICS SUMMER

西神戸YMCA  
 日本語教育プログラム生け花体験



7/20~27  
 台中YMCA・日本語教育プログラムでの華道の体験、講師は華道専正池坊・副家元諸泉聡子さん(元神戸YMCAメンバー)がボランティアでご協力くださいました。

神戸・シアトルYMCAコース交換プログラム  
 シアトルユースリーダー交流



7/25~8/9 広島平和公園にて1966年に始められたこの日米相互ユース交流は、すでに40余年を数えます。その間、多くのユースが国と文化の違いを超えて相互の理解を深め、友情の絆を結んできました。

余島キャンプ場でキャンプ実習



International Camp Counselor program in Japan (ICCPJ)で台湾のYMCAの大学生リーダー、陳(ちん)さんと黄(こう)さん@余島キャンプ場。日本語もべらべらで、カウンセラー、グループリーダーなど何でもできるスーパーリーダーの2人です。

ランゲージセンター 日本語夏期集中プログラム  
 姫路城へのフィールドトリップ



姫路城へ 7/12

専門学校 夏期実習



7/14~8/31  
 ホテル学科2年 大林君  
 ルネッサンスリゾートナルトにて

ランゲージセンター 日本語夏期集中プログラム  
 野球観戦



スカイマークスタジアム 7/11

高等学院修学旅行 東京へ



6/11~13  
 3年生23名のうちの希望者参加。

スケジュール  
 初日 東京タワー・お台場・屋形船  
 2日目 ディズニーランド  
 3日目 隅田川クルーズ (左記写真)

感謝 ~YMCA会員永年表彰~  
 (敬称略)

25年勤続者賞 宗行孝之介、和田雪  
 25年継続会員賞 阿部信、大家正子、大和田節子、亀徳正夫、佐井旦伯、永井敦子、中尾英輔、中祖順恵、本城智子、村山一郎、森愛子、森章一、山本光央  
 50年継続会員賞 大木素行、中山譲、渡辺春夫  
 青少年奉仕賞 大塚章信、加茂周治、西條遊児、塩田邦博、下村俊子、城純一、富川直彦、山路正明

第19回チャリティーゴルフ

日 程：2008年10月8日(水)  
 8時スタート予定  
 場 所：三田カントリー27  
 費 用：¥20,000

問合せ  
 電話 078-241-7204 カレッジ小川

個人消息

ご逝去 謹んでお悔やみ申し上げます  
 中島紀厚さん(会員活動委員)6/7  
 堀川吉彦さん(西宮ワイズメンズクラブ元会長)6/8

神戸市立垂水体育館「たるみ健康いきいきウォーク2008」

9月27日(土)10:00~12:00  
 コース：垂水体育館~五色山東公園~五色塚古墳~舞子公園~アジュール舞子~マリンピア神戸~垂水スポーツガーデン  
 全行程5キロ(約2時間)  
 申し込み：体育館窓口またはFAXにて  
 問合せ 神戸市立垂水体育館 078-709-6262

神戸YMCAカウンセリングルーム

開室時間：木曜日 午前10時~午後5時(予約制) 休日祭日・年末年始・学会出張時等を除く  
 相談料：1回(50分)5,250円  
 YMCA会員およびその保護者の方は 初回のみ2,625円  
 場 所：三宮YMCAまたは西神戸YMCA(学園都市)  
 問 合 せ：神戸YMCA カウンセリングルーム  
 TEL (078) 241-7249 神戸市中央区加納町2丁目7-15  
 sodan@kobeymca.or.jp \*お気軽にお問い合わせください。